



キャンプ利用状況(7月25日現在)



○ 宿泊利用者数 延べ218名 *7/24 宿泊分までの累計

・現地での活動中に、リーダーに断りもしないで勝手な行動をすることは絶対行ってはいけません。特に、屋外作業のときは、現地での活動はチームプレーです。リーダーの指示に従い作業と休憩のメリハリをつけて活動することが大切です。

■ 宮古から瓦礫撤去、泥出し作業のニーズ ■

- 宮古市ボラセンでは、今後ボラセンを閉鎖し復興支援センターを立ち上げるに当たって、このほど被災住民の方々に対してアンケート調査によるニーズの洗い出しを行いました。その結果、個人宅の瓦礫撤去や泥出し、側溝の泥出しなどの要望が上がってきているとのことでした。
- 宮古市ボラセンとの調整で、キャンプにとって宮古市では初めての屋外作業となりますが、きのう24日は末広町と大通りの瓦礫撤去・泥出し、きょうも継続した活動を行う予定です。

■ 宿泊室に名前をつけました ■

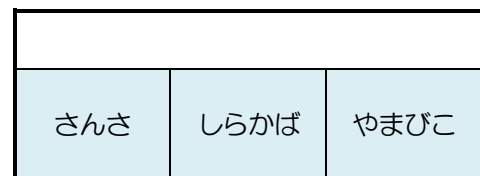
- キャンプの開設以来宿泊室は、利用者さんからは女子部屋とか男子部屋と呼ばれてきましたが、今後利用者さんが次第に多くなり部屋割りをを行う場合もあることや、滞在される部屋に愛着を持っていただきたいことなどから、このたび宿泊室に名前をつけることとしました。命名にあたっては、キャンプの地元ゆかりのものなどを念頭にスタッフ会議で決定しました。よろしくお願いします。

☆ 女性宿泊室 はまぎく(宮古市の花) ツツジ(旧川井村の花)

☆ 男性宿泊室 やまびこ(道の駅やまびこ館) しらかば(旧川井村の木) さんさ(盛岡さんさ)



女性宿泊室



男性宿泊室